

学校
法人 内丸学園
盛岡幼稚園

園報

第 248 号
(3月)
2019

雪がとけて春になる

盛岡幼稚園 理事長 坂本 洋

暖冬の本年も立春が過ぎ陽春です。園庭の残雪がとけ黒々とした土が見えて、北国の待ちに待った春の香りが漂っているこの頃です。年長組の子ども達は小学校入學に胸ふくらませ、朝のご挨拶も元氣よく大きな声で育ちの確かさが感じられます。

さて古い逸話で恐縮ですが、小学校のテストで「雪がとけると何になる」に「土が出て春になる」と答えバツをもらい不正解であったことが、朝日新聞「天声人語」(1980年2月10日)で取り上げられ、学校教育における画一的指導に対する対応に課題があるようなコラム。この場合子どもの感性を重視すれば、正解と言えるの

ではないかとのニュアンスに、以後色々な面でこの逸話が話題になりました。

私自身は、幼児教育での子ども達との関わりから、「すごい感性、正解」なのですが、教科は理科の授業で「雪や氷は溶けると水」(固体が液体になる)ことであれば不正解もやむを得ないかとも感じました。小学校4年生理科の教材では、「水のすがたとゆくえ」で水は温度によつて固体、液体、気体に変化すること、水が氷になると体積が増えることなど水の状態変化を知ることになっています。

幼稚園では、教科学習ではありませんから遊びを通して自然の変化に気づき、冬の寒い日には雪が降

るけど、春になると雨になる「どうしてだろうね」。水を色んな容器に入れて外においていたら氷に固まった。小学校理科「水のすがたとゆくえ」の一部を自然環境を通して遊びの中で実体験をすることを、学びとして重視しております。

先日、各クラスの先生方に「雪がとけたら何になる」を調べてもらいました。年長児から年少クラスまで、殆どが「みず」との回答。北国の子ども達は「ゆき」に触れあう毎日を通して科学的知識。中には、春、土、桜、滑つて転ぶ等があったようですが、全く少数でした。これをもって、子どもたちの感性がどうのということではないですが「手のひらで消える」の回答には感心。続けて「どうしてだろうね」と問答して見たくなる報告もありました。

私も幼稚園で、言葉の育ちに力を入れております。子ども達がいろんな出来事を体験し感じたり、観察し記憶していることを思い出して、新しい関係づけを生み出す力ともいえます。感じたり、観察し記憶することは、言葉で考え蓄えますから、言葉の使い方や表現力をしっかり身につけること

が大切になります。

そのために遊びの中で表現したくなる気持ちの環境、感動体験を与えることを重視。さらに子どもの言葉をしっかりと丁寧に聞き取る対応が大事です。また、教師や親は、身の回りの小さな変化や出来事を感情をこめその様子を話し聞かせること。毎日行っている絵本の読み聞かせでも、表現豊かにゆつくり余裕をもって一緒に楽しむことで、子ども自らの感性や想像力を磨くようにします。「雪が溶けたら春になる」「手のひらで消える」の表現はこのような日頃のかかわりで育まれるものと考えております。



卒園を祝う会



卒業おめでとう

卒業おめでとう！

Aクラス担任 田口 千聖



2月下旬、幼稚園のホールで『卒業を祝う会』が行われました。Aクラスはオペレッタ「てるてるぼうずいちまんこ」を披露。歌やダンスが大好きで、新しいことをどんどん吸収する力がある子ども達。この学年の一番得意な姿を観ていただくことができました。保護者の皆様と共に、子ども達の6年間の成長を感じ、感動と感謝の気持ちでいっぱいになりました。

この一年は年長として、色々なイベントに参加したり、大きな行事に向かって力を合わせたりしてきました。友達と気持ちがすれ違うこともありました。みんなを取り組む楽しさや、がんばった先の達成感をたくさん経験することができました。

毎日の遊びにも心に残る思い出がいっぱいです。片足を寄せ集めて鬼決めをしたこと、チケツトを配ってダンスショーをしたこと、カブトムシの幼虫がさなぎになっ



進級おめでとう

いつも笑顔で

Bクラス担任 竹岡 真美



あつという間にBクラスも終わりの時期を迎えました。この一年の写真を遡って見ていると、1学期の子ども達の顔がなんだかとても幼く見え、様々な経験を通して大きく成長したみんなは顔付きもぐっとお兄さん・お姉さんになったんだなあと実感し、嬉しくなります。

さて、2月の保育参観ではお家の方々に、翌週の誕生会では幼稚園のみんなに、劇遊び『おにのくにぎりや』を見てもらいました。豆まき会で鬼役を務めたことや、みんなが『○○やさん』の遊びが大好きだということもあり、この絵本を選び、劇遊びに取り組みました。このお話の中で、おにぎり屋を開いた小鬼の兄弟が森で出会った動物たちは、怒っていたりケンカしていたり・・・しかし、このお店のおにぎりを一口食べれば「うまい！」とみんな笑顔になります。この劇をみんなで元気に、

それぞれの役を楽しみながら発表できたBクラスの子も達。これからもこのお話のように、友達とケンカしたり、泣いてしまったりする時があっても、最後にはにっこり笑顔でいてほしいな、と願っています。

さあ、次はいよいよAクラス。楽しいことがたくさん待っているよ！

最後になりましたが、この一年子ども達を温かく見守り支えてくださったお家の方々に感謝いたします。ありがとうございます。

明るく・楽しく

C2クラス担任 村松 千尋



『明るく・楽しく』がモットーのCクラス。この言葉の通り、楽しいことが大好きな子ども達は、新しい遊びを見つけると「何々？」「やってみたい！」と目を輝かせて集まってきます。いつの間にか遊びの輪が広がり、気づいたらクラスみんなで遊んでいることも。特に「ごっこ遊び」がお気に入りです。お化け屋敷ごっこやお店屋さん



Aクラス集合写真

んごっこ、動物ごっこなど、子ども達なりにイメージを持って楽しんできました。二月の参観日後も、お友達と一緒に劇遊びをしたり、お面を被って役になりきったりする姿を見て「安心して自分を表現出来るようになったのだな」と嬉しく思っています。

入園当初を振り返ると、大好きなお父さん・お母さんと離れての幼稚園生活に、泣いている子や戸惑っている子もいました。最初は「先生と一緒に」でしたが、少しずつ「お友達と一緒に」が増えて、今の姿につながっているのだと感じています。

先日、二歳児のいちごクラスと交流する機会がありました。「〇ちゃん、こっちだよ」と、いちごさんの手を引いて遊びに誘う子ども達が頼もしく、そして一年の成長を感じた瞬間でした。
もうすぐ進級。保護者の皆様には、ご理解ご協力を頂き感謝しております。これからも明るく・楽しく！みんなのことを応援していきます!!



進級に向けて

いちごクラス担任 林崎 裕子



ぽかぽかあたたかな日もあり、もうすぐそこまで春が来ているようです。「もうすぐCクラスさん」と進級することを楽しみに張り切っているいちごクラスさん。進級に向けて、自分の使った物をカバンにしまう事に挑戦しています。自分のカバンは特別で「ジブンデ」という時期の子どもたちにとってぴったりの活動。今では上手にしまえるようになってきました。また、トイレ後の手洗いや服の着替えをしようとすると、身の周りの事を少しずつ出来るようになり子どもたちも自信がついてきているようです。最近の遊びでは、避難訓練の時に園で見た消防車やパトカー、救急車などの働く車に夢中になっています。「一緒に火を消しに行こう！」と友達を誘い、段ボールの消防車に乗り消防士さんやおまわりさんになりきって楽しんでいきます。友達同士のかかわりが増えてきてうれしく思います。
先日は、Cクラスさんと一緒に遊びお部屋のおもちやや雰囲気を知る機会になりました。今後は、

おやつやお昼寝体験を通して、安心して進級することが出来るようにしていきたいです。元気いっぱいに遊べるCクラスさんになってもらえるよう、これからも見守っていききたいと思います。

保護者より

保育部での3年

いちごクラス 楠田 明日美 (哲士)

息子がふたばクラスに入園してから2年半が経ち、まもなく進級を迎えます。初日には目を泣き腫らしていた子が、今では園でたくさんのお楽しみを見つけ、元気に通っています。

帰ってきてから園での出来事を話す時、何をして遊んだ、だけでなく、誰とどんな事をしたというように、お友達や先生も話題に出てくるようになりました。ふたばさんの頃は、気に入ったおもちゃでそれぞれ遊んでいた赤ちゃん達が、今ではごっこ遊びやフルーツバスケットなど、お友達と一緒にだからその遊びを楽しんでいて、成長を嬉しく感じます。

子ども達同士の関わりが深くなっていくにつれ、気持ちのぶつ

かり合いも多々あった事と思います。そんな時、感情の紐を丁寧にほどきながら、声をかけて下さる先生方に、改めて感謝いたします。
息子がふと口ずさむ童謡に、持ち帰ってくる製作に、季節を感じる保育部生活でした。積み重ねてゆく思いの数々が、これからも豊かな心を育んでくれるのでしょう。今は新しい季節を前にして、小さな胸にワクワクと心配を抱えているようです。喜びを分かち合い、不安に寄り添いながら、見守っていききたいものです。幼稚園部でも好奇心いっぱい楽しんでほしいです。



いちごクラス「消防隊ごっこ」

強くなつたね

Bクラス 若井菜の子(遙)

「参観日はおにのおにぎりや」をやるんだよー遙は大おにさん！」

Bクラス最後の参観日を前に、得意げに教えてくれた遙。自宅のカレンダーに「さんかんび」と自分で書き、当日をとて心待ちにしている様子でした。とはいえ、前年の発表会では私から離れられず、ほとんど泣き顔で過ごしたこともあり、夫婦そろって期待よりも心配の方が大きく、本人よりも緊張していました。しかし、そんな我々の心配をよそに、遙は元気いっぱい楽しそうに大おにさんを演じていました。一年前の泣き顔とは違い、笑顔でやり切った姿は本当に感慨深いものでした。

振り返ってみると、Bクラスでの一年間でとても大きな成長がみられました。きつかけとなったのは、Bクラスでの夏休みのある日。登園時は毎日のように大泣きし、周りの子と関わることも少なかった遙が、「本当はみんなと遊びたいんだよ。牛乳パックでたくさん新幹線を作っているのだから、そうすればみんなと遊べると思うか

らなんだよ。」とこぼしたことでした。これを機に、先生方の手を借りながら友達との関わり合いも増え、毎日生き生きと登園できるようになりました。卒園まであと一年ですが、先生方、お友達のみなさん、どうぞよろしくお願いします。



Bクラス劇遊び発表

退職される先生から

ありがとう 盛岡幼稚園

Aクラス副担任 上平 敬子

私は昭和50年に幼稚園に新卒として採用していただき、その後非常勤の期間を含め、44年間お世話になりました。こんなに長く勤めさせていただき、とても感謝しております。

個性豊かな子ども達との出会

い、そしてともに仕事をした職員との思い出が宝物です。感謝の言葉は伝えきれません。ありがとうございました。

「幸せな日々」

C1クラス担任 向井 里奈

春が近づくにつれ、子ども達の成長を嬉しく感じると共に、私がこの園を離れる寂しさが募る毎日。盛岡幼稚園でたくさんの子とも達と出会い、その笑顔と笑い声に励まされ、パワーをもらっていた私です。「みんなを楽しませ、笑顔にしたい」それが私の保育のモットーであり、子どもの笑顔が私の幸せでした。子ども達に囲まれた日々は、私にとって幸せなひとときでした。私なりの保育を温かく見守って下さった皆さまに、感謝の思いでいっぱい입니다。本当にありがとうございました。

編集後記

白鳥の北帰行が始まり春の訪れを告げる頃、年長児34名もこの春卒業を迎えました。大きな樹に例えると根つこの部分であるとても大切な幼児期をご家族の皆様と共に一緒に歩ませて頂いたことに感謝の気持ちでいっぱい입니다。これまでの感謝の気持ちをお家の方へ伝えようと「ありがとう茶会」を開きました。歩き方の所作から始まったこの時間が心を落ち着ける良い時間となり、親子茶会では保護者の皆様と共に成長を感じるひと時となりました。

伸び行く子ども達が健やかに成長していけるよう職員一同これからも見守っていききたいと思ひます。今年度も保護者の皆様のご協力に感謝申し上げます。



学校法人 内丸学園
幼保連携型認定こども園
盛岡幼稚園
〒020-0021
盛岡市中央通一六―四七
TEL 六二二―二三〇一
理事長 坂本 洋